

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：畜産安全課  
 担当名：総務・畜産企画担当  
 内線：4189

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B31	秩父高原牧場運営費			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	秩父高原牧場費		
事業期間	昭和48年度～	根拠法令	埼玉県秩父高原牧場条例、埼玉県ふれあい牧場条例、家畜改良増殖法第2条、埼玉県家畜改良増殖計画第1-II-4	宣言項目	09	儲かる農業の推進		SDGsゴール	2	
				分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立		SDGsターゲット	2-3, 2-4, 2-5	
1 事業概要				5 事業説明						
<p>秩父高原牧場は、広大な敷地を利用した放牧により県内酪農家の乳用育成牛を強健な乳牛に育てる受託育成及び黒毛和牛子牛の買取り・生産・譲渡を実施している。また、彩の国ふれあい牧場は、乳製品の手作り体験などにより県民の畜産への理解醸成に取り組んでいる。今後も拠点施設である秩父高原牧場の適切な運営により、本県の畜産振興を図る。</p> <p>(1) 施設管理・乳牛受託育成・ふれあい業務費 69,178千円                      (2) 肉牛供給業務費 35,264千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 施設管理・乳牛受託育成・ふれあい業務費 69,178千円                      県内の畜産振興のため、乳牛の受託育成業務や彩の国ふれあい牧場の適正な運営を図る。</p> <p>イ 肉牛供給業務費 35,264千円                      県内酪農家から受託した乳用牛や県有牛に人工授精や受精卵移植を行い、生産した子牛を牧場で約9か月齢まで育成する。優良な繁殖雌牛として期待できる子牛は県内和牛繁殖農家に、その他の子牛は県内和牛肥育農家に供給する。</p> <p>(2) 事業計画                      今後も秩父高原牧場及び彩の国ふれあい牧場の運営により、県内の畜産振興を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳用育成牛入牧頭数                              令和元年度 114頭(現状) → 令和3年度 120頭(計画)</li> <li>・肉用牛譲渡頭数                              令和元年度 56頭(現状) → 令和3年度 62頭(計画)</li> <li>・ふれあい牧場展示館入館者数                              令和元年度 71,430人(現状) → 令和3年度 82,300人(計画)</li> </ul> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月中旬から6月初旬に「天空のポピー2021」を開催。</li> <li>・平成26年度からは地元町村、観光協会、商工会及び関係機関からなる「ポピーまつり実行委員会(事務局：東秩父村)」主催により開催している。</li> <li>・「彩の国ふれあい牧場連絡協議会」を軸にして、周辺地域の観光情報などを効率的に収集、発信し、地元市町村と連携して、新たな特産品の商品化やPR活動、販売を支援する。</li> <li>・平成29年度には地方創生拠点整備交付金を活用し、ふれあい牧場の大規模修繕を実施した。</li> <li>・肉牛供給業務では、受精卵移植を実施する獣医師と連携し、乳牛への和牛受精卵移植の普及を推進する。</li> </ul>						
2 事業主体及び負担区分										
(1) (県10/10) (2) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×11.0人=104,500千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		使用料・手数料	財産収入	諸収入	県債					
決定額	104,442	38,410	31,687	25	19,000			15,320	△24,927	
前年額	129,369	36,342	35,687	25	43,000			14,315		